

Pharmacology

1 unit 3rd-year(2nd semester)

Katsuhiko Yoshimoto · PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Yasuko Ishikawa · ASSOCIATE PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Noriko Mizusawa · ASSISTANT PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Takeo Iwata · ASSISTANT PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Maki Moritani · PART-TIME LECTURER / 香川小児病院, Setsuko Ii · PART-TIME LECTURER / 老健施設平成アメニティー

Target) 講義で学んだ薬物を、実際に動物あるいは摘出臓器に作用させ、その効果を観察することにより、生体の機能と薬理作用の関係を具体的かつ総合的に把握する。

Outline) 実験動物の取り扱い方、薬理学的実験法を習得するとともに、薬物の効果を確認する。

Style) Practice

Manner) 実習

Location) 第2実習室

Theme) 講義で学んだ静的な知識を動的に捉え直し、知識を統合する。

Notice) 実習全回出席と全実習レポートの提出をもって、受験資格を認定する。

Goal) (＜> 内はコアカリ対応)

1. 実験機械・器具の使用方法を説明できる。
2. 実験動物の苦痛を認知し、動物実験の必要性と倫理的配慮について説明できる。
3. 麻酔薬の効果を説明できる。
4. 血圧に影響を及ぼす薬物の効果を説明できる。
5. 唾液分泌に作用する薬物の作用を説明できる。
6. 鎮痛薬の作用を説明できる。
7. 薬物代謝酵素の多型について説明できる。

Schedule)

	大項目	中項目	到達目標	担当
1.	安全衛生	実習を中心とした学生生活における安全衛生について説明・討議を行う。	1, 2	全員
2.	イントロダクション	機器・器具の操作法や使用上の注意点, 小動物の取り扱い方を説明する。	〃	〃
3.	中枢神経作用薬	麻酔薬の作用	3	〃
4.	末梢神経作用薬	唾液分泌に作用する薬物の作用	5	〃
5.	循環系作用薬	全身血圧に対する薬物の作用	4	〃
6.	鎮痛薬	熱刺激に対する鎮痛薬の作用	6	〃
7.	薬物代謝酵素	遺伝子多型の検出	7	〃
8.	実習の反省	実習内容について討議する。	1-7	〃

Evaluation Criteria) 評価はレポートおよび筆記試験により行い、試験は講義C・Dの筆記試験と同時(3年次後期試験中)に実施する。100点満点で60点以上のものを合格とする。

Re-evaluation) 行う。

Textbook) 実習書:プリントを配付する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217365>

Contact)

⇒ Yoshimoto (+81-88-633-9123, yoshimot@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月～金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・教授室))

⇒ Ishikawa (+81-88-633-7332, isikawa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月～金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・准教授室))

⇒ Mizusawa (分子薬理学, +81-88-633-9137, mizusawa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月～金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・第4研究室))

⇒ Iwata (+81-88-633-9137, iwatakeo@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月～金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・第4研究室))